

事務事業名		まつり開催運営支援事業		☒ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目				
	施策名	23 豊かな地域資源を活用した観光の振興				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01 観光客の誘致と観光宣伝の充実				01	07	01	04	09
根拠法令										
所属	部課名	商工港湾部商業観光課		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 - 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～年度 ※全体計画欄の総投入量を記入						
	課長名	鈴木 弘								
	係名	観光物産係	電話		0192-27-3111					
	担当者	佐藤雅基	内線		116					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
市内で開催されるまつりの実行委員会に対し、まつりの開催を支援するために負担金、補助金を交付している。 ・基石海岸観光まつり(基石海岸観光まつり実行委員会) 大船渡市の観光シーズンの幕開けを告げるまつり。実行委員会の事務局を担当している。 ・三陸・大船渡夏まつり(三陸・大船渡夏まつり実行委員会) 市内最大のイベント。震災前の人出は2日間で約20万人ともいわれた。大船渡商工会議所とともに事務局を担当している。						総投入量 (千円)	事業費内訳	国庫支出金		
								都道府県支出金		
								地方債		
								その他		
								一般財源		
								事業費計(A)	0	
人件費	正規職員従事人数									
	延べ業務時間									
	人件費計(B)	0								
	トータルコスト(A)+(B)	0								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ・基石海岸観光まつり実行委員会負担金、三陸・大船渡夏まつり実行委員会負担金 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同様					⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)				
					名称				単位
					ア	まつり開催日数	日		
					イ				
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・直接対象 まつり実行委員会 ・間接対象 市民、観光客					⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)				
					名称				単位
					カ	まつり実行委員会、打合せ会開催回数	回		
					キ				
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・多くの観光客に観覧していただくとともに、まつり以外でも大船渡のすばらしさ、歴史などを知ってもらう。 ・多くの市民参加で、地域の融和と活力の創出を図る。					⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)				
					名称				単位
					サ	基石海岸観光まつりの入込観光客数	千人		
					シ	三陸・大船渡夏まつりの入込観光客数	千人		
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・大船渡市を訪れる。 ・魅力がPRされ、認知度が高まる。					ス				
(2) 総事業費・指標等の推移									
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	18,000	18,000	23,100	24,100	24,000	24,000
	事業費計(A)		千円	18,000	18,000	23,100	24,100	24,000	24,000
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	900	900	900	900	900	900
		人件費計(B)	千円	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600
		トータルコスト(A)+(B)		千円	21,600	21,600	26,700	27,700	27,600
⑤活動指標		ア	日	7	7	5	7	7	7
		イ							
		ウ							
⑥対象指標		カ	回	35	38	7	38	38	38
		キ							
		ク							
⑦成果指標		サ	千人	-	11	27	30	30	30
		シ	千人	-	45	66	50	50	50
		ス							

事務事業ID	0450	事務事業名	まつり開催運営支援事業
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 「海の日」の制定、三陸・海の博覧会記念基金助成事業(大船渡・かがり火まつり:平成8年度)	
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ ・平成16年度から、大船渡市夏まつりと大船渡・かがり火まつりを三陸・大船渡夏まつりとして同日開催するとともに、平成17年度に、大船渡市夏まつり実行委員会と大船渡・かがり火まつり実行委員会が発展的に統合し、三陸・大船渡夏まつり実行委員会となった。 ・東日本大震災の影響で、平成23年度のまつりは中止になったが、平成24年度に再開した。 ・平成24年度の機構改革により部課名が商工観光部商工観光物産課から商工港湾部商業観光課に変更となった。	
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 基石海岸観光まつりや三陸・大船渡夏まつりは地域の特性である「海」を生かしたイベントであり、これらの開催を支援することは、豊かな地域資源を活用した観光の振興を推進している市の政策に直結するものである。	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 協賛金などの自主財源だけでは現在のまつりの規模を維持することは困難であり、市費の投入が必要。	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 個別のまつり実行委員会への支援であり、限定される。	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 長引く景気の低迷から入込観光客数が減少しており、まつりの企画に工夫をもたせる。特に、大震災後は催事内容を縮小しているため、震災前の水準に戻すための工夫が必要。	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 協賛金などの自主財源だけでは現在のまつりの規模を維持することは困難であり、事業を廃止・休止した場合、まつりの規模の縮小もしくは中止せざるを得ない状況となる。	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 活力創生2億円事業があるが、継続して開催されるまつりへの支援は、活力創生2億円事業の趣旨にそぐわない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 削減によって、まつりの規模の縮小もしくは中止せざるを得ない状況となる。	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 ・基石海岸観光まつり及び三陸・大船渡夏まつりについては、事務局の移管(委託)によって削減は可能である。	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 実行委員会による運営のため、公平性は確保されている。	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映

事務事業ID	0450	事務事業名	まつり開催運営支援事業
--------	------	-------	-------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	 三陸・大船渡夏まつりについては、無償のボランティアスタッフの協力を得て運営するなど、経費の節減に努めている。 負担金の額もさることながら、事務局を担当している実行委員会の業務が多く、必ずしも市が担当すべきとは限らないことから、受け皿の整備も含めた移管の検討が必要である。																					
② 有効性	☐ 適切 ☒ 見直し余地あり																						
③ 効率性	☐ 適切 ☒ 見直し余地あり																						
④ 公平性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																					
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) それぞれのまつりの規模や内容は内外に定着していることから維持することとしながら、市が担当している事務局については他団体への移管を検討する。		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>●</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
受け皿がない。 大船渡商工会議所や大船渡市観光物産協会の受入態勢が整っていない。																							

(職 名) ※原則として施策の主管課長		(氏 名)
2次評価者	商業観光課長	鈴木 弘

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																							
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)																							
☐ 記述不足でわかりにくい ☒ 一部記述不足のところがある ☐ 記述は十分なされている																							
②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)																							
☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☒ 一部に客観性を欠いたところがある ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																					
① 目的妥当性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	 ・現在、三陸・大船渡夏まつり実行委員会の主たる事務局は大船渡商工会議所、三陸・大船渡東京タワーさんままつり実行委員会の事務局は(一社)市観光物産協会が担っている。現時点において、碁石海岸観光まつりの事務局を担ってもらう団体はないと思われる。 ・震災からの復旧・復興が進み、夏まつりの開催環境が変われば、まつりの企画もさらに工夫ができ、成果の向上が期待できる。																					
② 有効性	☐ 適切 ☒ 見直し余地あり																						
③ 効率性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																						
④ 公平性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																					
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) ・各まつり開催にあたっては、前年度の内容を検証し、必要に応じて見直しや新しいものを取り入れながら充実を図っていく。 ・三陸・大船渡夏まつり開催環境の改善(東日本大震災からの復旧・復興の進捗)状況にあわせて、まつりの充実に向けた企画を検討していく。		左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>●</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 政策推進会議等での指摘事項